

温暖化対策は待たなし ごみ減量、防災教育を推進せよ

自由民主党目黒区議団 田島 けんじ 議員

<温暖化対策>

(1)目黒区地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況を尋ねる。(2)区施設への、新エネルギー機器等の導入状況はどうか。(3)目黒区の今後の課題と、区の取り組みについて聞く。

区長 (1)二酸化炭素排出量は、平成16年度を基準として、総量目標と部門別の事業所・自動車部門では削減目標を達成しつつ

あるが、家庭部門では増加した結果となっている。(2)太陽光発電システムは、碑小学校など7施設に導入した。(3)国のエネルギー政策等の動向を情報収集しつつ、地域協議会で検討し、同計画の改定を進めている。

<ごみの分別回収・資源回収>

(1)古紙の集団回収が、町会に一元化されて5年目を迎えた。ごみの分別回収にお

ける適正排出と資源回収はどうなっているか。(2)使用済み小型電子機器等のリサイクル法がスタートするが、23区における取り組み状況と成果について伺う。区はどのように取り組むのか。

区長 (1)関係者の協力により、順調に古紙回収の実績を上げている。ごみ量35%削減、リサイクル率を40%に引き上げることを計画目標に、普及啓発を行っている。(2)23区中7区が小型電子機器等のリサイクルを開始しているが、成果の検証はこれからである。資源回収体制の構築など課題があり、今後慎重に検討を進めていく。

<オープンカフェ>

区道を利用して、地域住民や商店街利用客

の憩いの広場を創設してはどうか。

区長 先行自治体の事例等を調査し、本区での導入の可能性を探っていく。

<震災後の防災教育>

(1)地域の防災訓練を小学校の防災教育授業に取り入れ、子どもたちが家族と一緒に訓練を受けるようにしてはどうか。(2)罹災時に居合わせる場所を想定し、各自その場所で避難行動を考えさせる機会を、防災教育に取り入れてはどうか。

教育長 (1)防災訓練を取り入れた公開授業の実施を検討していく。(2)学校外にいる場面でも子どもたちが適切な避難行動をとれるよう、各学校で防災教育の充実に努めていく。

最近の委員会の主な議題 (平成25年1月～3月)

常任委員会

企画総務委員会

1月9日(水曜日)
【視察：東京都市計画事業大橋地区第二種市街地再開発事業1-1棟(クロスエアタワー)の竣工に伴う高所カメラ設置場所の現場確認等】

- ・訴訟事件の報告
- ・目黒区男女平等・共同参画センターの見直し(素案)
- ・契約報告(4件)
- ・目黒区登録業者の指名停止措置
- ・平成24年度都区執行家議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査、東京都知事選挙の結果

- 2月13日(水曜日)**
- ・目黒区実施計画改定案
 - ・目黒区財政計画(平成25年度～29年度)(案)
 - ・平成25年度組織改正
 - ・新たな歳入確保案検討会の検討結果(広告付き案内板の設置)
 - ・平成25年新年のつどいの実施結果
 - ・訴訟事件の報告(2件)
 - ・契約報告
 - ・土地売買契約

都市環境委員会

1月9日(水曜日)
【視察：東京都市計画事業大橋地区第二種市街地再開発事業1-1棟(クロスエアタワー)の完成に伴う公共公益施設の竣工確認】

- ・「学芸大学駅周辺地区あんしん歩行エリア形成事業」の平成24年度事業説明会の結果
- ・「地域主権改革」に伴う自転車等駐車場の標識及び道路・公園移動等円滑化の基準に関する条例制定
- ・道路及び公園占用料改定の考え方
- ・工事報告(道路維持工事及び交通安全施設整備工事(下目黒一丁目)、交通安全施設等整備工事(あんしん歩行エリア形成事業))
- ・「地域主権改革」に伴う目黒区立公園条例の一部改正
- ・目黒天空庭園等の維持及び管理・運営等の考え方
- ・工事報告(目黒銀座児童遊園改良工事(第一期))
- ・「地域主権改革」に伴う区営住宅条例等の一部改正
- ・目黒区地球温暖化対策地域推進計画期間の延伸

- 2月26日(火曜日)**
- ・陳情審査
 - ・目黒区地域防災計画修正案の取扱い等
- 2月27日(水曜日)**
- ・補正予算審査

生活福祉委員会

1月9日(水曜日)
【視察：東京都市計画事業大橋地区第二種市街地再開発事業1-1棟(クロスエアタワー)の完成に伴う公共公益施設の竣工確認】

- ・平成25年度まちづくり活動助成事業の実施
- ・三田フランスに設置する道田住区センター三田分室施設の名称の扱い
- ・大橋一丁目公共施設内会議室の目的外使用許可に係る使用料等
- ・目黒区文化ホール及び目黒区美術館における指定管理者選定にあたっての基本的な考え方等
- ・目黒区民センタープール(屋内プール)の臨時休場
- ・「地域主権改革」に伴う介護保険法等改正による指定地域密着型サービスの等々の基準に係る条例の制定
- ・「地域主権改革」に伴う高齢者福祉住宅条例の一部改正

- 2月13日(水曜日)**
- ・目黒区実施計画改定案
 - ・目黒区財政計画(平成25年度～29年度)(案)
 - ・平成25年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会における議決結果
 - ・中根住区センター住区会議室・併設の老人いこの家の臨時休館
 - ・平成25年度目黒区立緑ヶ丘小学校屋内プール他2プールの臨時休場日及び開場時間
 - ・スポーツ祭東京2013におけるデモンストレーションとしてのスポーツ行事「ミニバレー」実施要項等の周知
 - ・法華津寛氏講演会の開催
 - ・平成25年度目黒区地域密着型サービス及び都市型軽費老人ホーム整備事業者の募集
 - ・目黒区立高齢者在宅サービスセンターの検討結果

- ・埋蔵文化財整理室の大橋ジャンクション躯体内部空間利用
- ・めぐろ区民キャンパス内レストラン
- ・「ティーンズフェスタ・イン・めぐろ2012」の実施結果
- ・保育園給食調理業務委託業者選定の結果
- ・グループ型小規模保育事業受託事業者の選定

- 2月13日(水曜日)**
- ・目黒区実施計画改定案
 - ・目黒区財政計画(平成25年度～29年度)(案)
 - ・「ティーンズフェスタ・イン・めぐろ2012」の実施結果
 - ・保育園給食調理業務委託業者選定の結果
 - ・グループ型小規模保育事業受託事業者の選定
 - ・友好都市・気仙沼市復興応援写真展～気仙沼市に想いを寄せて～の開催
 - ・スポーツ表彰の見直し(案)
 - ・2020年オリンピック・パラリンピック東京招致及びスポーツ祭東京2013に係る気運醸成事業の実施状況等
 - ・生活保護受給者に対する自立支援事業の実施
 - ・平成25年度における給食食材等の放射性物質検査
 - ・BOGワクチン接種方法の変更

- 2月26日(火曜日)**
- ・陳情審査
- 3月18日(月曜日)**
- ・議案審査
 - ・第二期目黒区特定健康診査等実施計画

- 2月25日(水曜日)**
- ・めぐろ学校教育プラン改定案
 - ・平成25年度における放射性物質への対応(案)
 - ・第三中学校・第四中学校の統合新校整備方針(案)
 - ・区立みどりがおか子ども園給食調理業務委託業者選定の結果
 - ・目黒区立げっこうほらこども園(仮称)整備工事実施設計の説明会の結果
 - ・目黒区立子ども園の教育・保育
 - ・平成24年度学校評価における四者による学校評価アンケートの実施結果等
 - ・平成24年度「いじめ問題を考えるつどい」の実施結果

- 2月26日(火曜日)**
- ・陳情審査
 - ・東京都特別支援教室モデル事業の進捗状況
 - ・平成25年度の社会教育館の運営等
 - ・目黒区生涯学習実施推進計画

議会運営委員会

- 1月23日(水曜日)**
- ・平成25年第1回区議会定例会区長所信表明について
 - ・目黒区施設白書(案)について
 - ・平成25年1月14日の降雪に伴う被害状況・対応等について
 - ・平成24年度前期(4月～9月)分政務調査費収支報告書に係る議長の調査結果について(報告)
 - ・平成25年4月から平成26年3月までの区議会予定表(案)について
 - ・検討事項について
 - ・目黒区議会災害対策会議について

- 1月28日(月曜日)**
- ・目黒区実施計画改定案について
 - ・目黒区財政計画(平成25年度～29年度)案について
 - ・平成25年度組織改正について
 - ・平成24年度目黒区一般会計補正予算案(第3号)、特別会計補正予算案(第2号)について
 - ・平成25年度目黒区各会計予算案について
 - ・平成25年4月から平成26年3月までの区議会予定表(案)について
 - ・地方自治法の一部改正について
 - ・目黒区議会災害対策会議について

- 2月4日(月曜日)**
- ・平成25年第1回定例会の招集について
 - ・提出予定議案について
 - ・会期及び会期中の日程について
 - ・議会運営委員会に提案する意見書等について
 - ・代表質問、一般質問の通告期限について
 - ・請願・陳情について
 - ・予算特別委員会の設置及び正副委員長の選出について
 - ・本会議における討論通告書の提出期限について
 - ・平成24年度目黒区一般会計補正予算案(第3号)、特別会計補正予算案(第2号)について
 - ・平成25年度目黒区各会計予算案について

特別委員会

区有施設等調査特別委員会

- 1月25日(金曜日)**
- ・体育施設的一般公開プログラムにおける区民の優先受付の実施(案)
 - ・目黒区施設白書(案)
- 2月28日(水曜日)**
- ・陳情審査
 - ・目黒区施設白書(案)
 - ・公益法人等見直し検討結果(案)

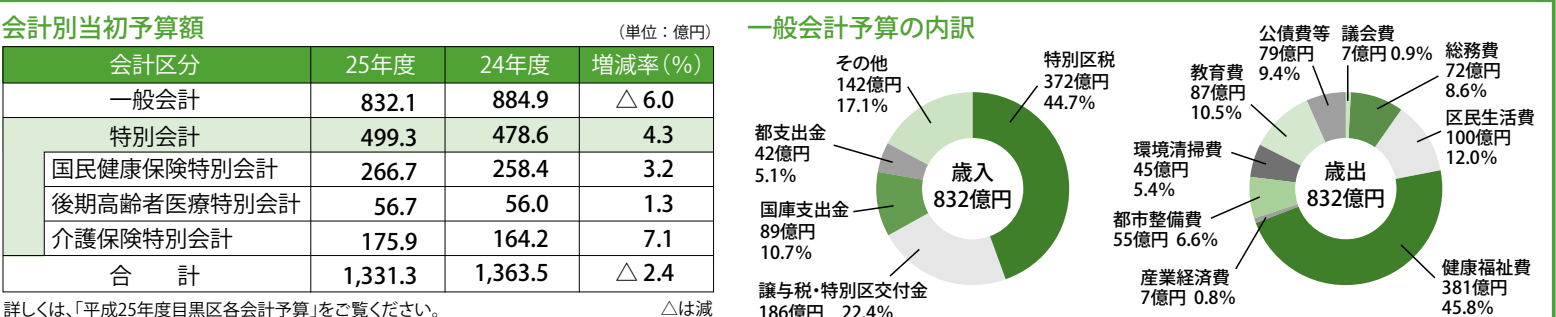
予算特別委員会

- 2月22日(金曜日)**
- ・正副委員長互選
- 3月7日(水曜日)～3月15日(金曜日)土日祝日を除く**
- ・議案審査

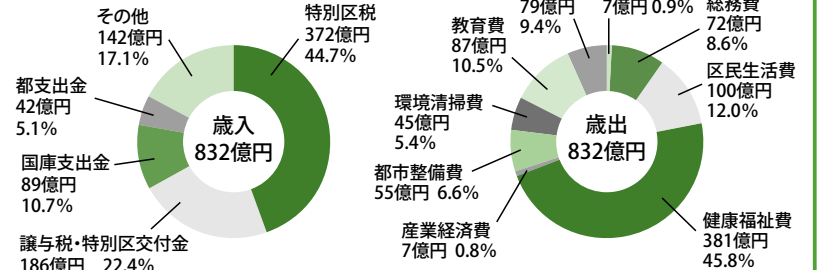
平成25年度 各会計予算のあらまし

各会計の予算額、一般会計予算の内訳の概要は、図表のとおりです。

(図表の数値は、四捨五入をした関係で、合計額と一致しないことがあります。)



一般会計予算の内訳



平成25年度予算案に対する討論(要旨) ●詳細は、目黒区議会会議録または区議会ホームページの会議録検索をご覧ください。

一般会計

区民負担増をやめ 保育・介護など区民生活優先で財政出動を！ 反対

日本共産党目黒区議団 星見 てい子 議員

4月に認可保育園に入れない子どもたちは800人以上、特別養護老人ホーム待機者は100人にもなっているが、こうした緊急課題が後回しにされている。その一方で、「緊急財政だ」と言って、施設利用料や幼稚園・保育園・学童クラブの保育料の値上げなど、区民への負担増と700項目もかけて超高層ビルに移転させた。逆立ち込まれた。国民健康保険料も耐えられない値上げである。

目黒区は黒字である。昨年度決算の

質収支は39億円と予想外の黒字で20億円を基金に積み立て、本年度の最終補正でも税収が伸び、国の臨時交付金も追加され、約13億円を積み立てた。負担増とサービスカットの一方で、大橋開発ではジャンクションに天空庭園を9億円で作り、5億円建て替えできる大橋図書館を25億円もかけて超高層ビルに移転させた。逆立ちした税金の使い方は許されない。

いのちと暮らし最優先という自治体の役割から変質した予算であり反対する。

政権交代後のロケットスタートを区政運営に生かし決断するは今！ 賛成

自由民主党目黒区議団 おのせ 康裕 議員

昨年の12月に衆議院・東京都知事選挙が行なわれ、第2次安倍内閣、猪瀬都知事体制がスタートし、年末から経済成長戦略の「3本の矢」を指針とした大型補正予算、新年度予算が執行された。それらの内容は、国土強靱化や、震災復興、保育所持機児童対策、生活保護見直し、がん対策、大都市災害への減災への取り組み等、真に必要な社会資本整備等に取り組み、その多くは、早速平成25年度目黒区会計予算のメ

ニューに着実に項目として現れている。本年度目黒区予算編成に当たってはわが党が要望した「予算の見える化」が実施され、その透明性の確保は重要である。

財政再建2年目を迎え、区有施設のあり方検討を実施する中、制度疲労した「生活圏域構想」、成熟した「自転車総合計画」、「保育所持機児童対策」に決断を下すのは「いま」である事を宣言し賛成する。

「カネがなければ土地を売れ！」青木区長は区政失敗の反省なし！ 反対

無所属・目黒独歩の会 須藤 甚一郎 議員

度重なる青木区長の区政運営の失敗により、目黒区は東京23区で最低、最悪の財政状態に陥った。しかし、困ったもので、区長は反省のかけらもなく、いってみれば「区長に3選されたのだから、文句あるか!」といったやり方だ。

平成25年度の一般会計予算は、区民無視の穴陥だらけの予算編成であり、私たち「無所属・目黒独歩の会」は大反対である。無能な青木区政は「カネがなければ、土地を売れ!」[知恵がないから、土地を売る!]

で、区民の貴重な財産である区施設・区有地を片っぱしから叩き売る。昨年12月には箱根保養所、今年2月には上目黒福祉工房を安値で売ったばかりだ。こんな愚策はゴメンだ! 青木区長は「今後10年で区有施設の改修・改築に711億円必要だ」と区民の不安をおおるが根拠はなく、自らの失敗の穴陥だらけの予算編成を、私たち「無所属・目黒独歩の会」が大反対である。無能な青木区政は「カネがなければ、土地を売れ!」[知恵がないから、土地を売る!]

更なる改善努力で財政健全化を区民の安心安全を守れ！ 賛成

公明党目黒区議団 山宮 きよたか 議員

今回の予算審査において、我が会派が指摘した「区民の安心安全を守る」事業については、今後も効果的・効率的な予算執行を推進すること、需要変化に適切に対応した地域コミュニティの拡充や防災減災の取り組み、子育て・教育環境の整備や福祉

の充実を図ること、財政健全化の見える化への努力と新たな歳入確保策に努めること等を踏まえ、厳しい財政状況の中でも、区民の不安を払拭し生活を守り支える施策を継続的かつ的確に展開していくべきだ。特に「区有施設の抜本的見直し」に

予算特別委員会正副委員長



については、財政健全化イコール区有施設の再編と言っても過言ではない。施設白書をもとに、区政の現状から「何を優先的に見直ししていくのか」丁寧な議論や勉強会を実施し、区民の皆様とも対話を重ねて実効

性の高い再編方針を作成するべきだ。財政状況の厳しさに萎縮することなく、創意と工夫で活路を開き「目黒の未来」を構築するよう強く要望し、本予算に賛成する。

堺屋太一氏に区長は学べ。巧運は拙速に如かずという事を。 反対

みんなの党目黒区議団 松田 哲也 議員

区有施設の早急な統廃合と外郭団体の廃止によって捻出した財源を、防災対策と世代構成比率の改善に予算を付け変え、重点化するよう求めてきた。

300以上の区有施設・建物の更新費用には、今までより年間約30億円のコストがかかる。しかし、芸術文化振興等の3団体の統合には4年間もかける。検討に1年、計画に1年、説明に1年、準備に1年。区民に180億円もの負担を、昨年度から強いておきながらこれでは遅すぎる。また廃止

されるはずの住宅・街づくりセンターは、年にたった4回の講演会等のために、実態は看板が変わるだけで多額の補助金が投入され続ける。

また多くの区では2年前の大震災を教訓とし、既に今年度から6倍もの予算をつけているが、目黒区は2倍にも満たない。3世代近居助成制度など現役世代に厚く予算をつけ、税収増も図るよう求めたが、少子高齢化に対する問題意識も低いままだった。よって本予算には反対する。

施策の優先性と重要性の的確な判断、区民サービス向上を 賛成

刷新めぐろ 香野 あかね 議員

大災害に備える意味での財政計画等の確立を要望してきたが、財政調整基金の積み増しで前進が見られた。避難所施設の非構造部材の落下防止対策を評価する。避難所運営では多様な視点を盛り込んだ避難所の開設を地域が行えるよう区は支援を行うこと。厳しい財政状況下、事務事業見直し実施は2年目となるが引き続き取り組まれない。有識者の専門的見地を踏まえ、長期的視野で多数ある区施設の抜本的な見直しをせよ。待機児対策では、

認可保育園増設のみならず育児休業から復職する際に子どもが認可保育園に入るよう入園審査は正と年齢別の定員構成改善を。事故多発地点にイラストのカラーストップマーク導入、オートバイ駐輪場不足解消を。統合新校の魅力向上、積雪時通学路安全確保に地域連携を。予算で効果的、効率的な財政運営の実現、財政能力充実、施策の優先性と重要性の的確な判断で、区民サービス向上に取り組むことを強く要望し賛成討論とする。

子宮頸がん予防ワクチンの副作用はやっぱりあった！ 賛成

広吉 敦子 議員

予算に賛成する。防災は、コミュニティが連携し支え合う仕組みを作るべき。保育所持機児童対策は、将来を見据えた計画を。定期化される子宮頸がんワクチン予防接種の副作用が明らかとなった。国へ意見を述べ、保護者や本人に正確な情報を

届け、正しい情報を得た上で接種を選択できるようにすべし。目黒川の改善は、生活排水を流す区民への協力を喚起しながら進めよ。目黒清掃工場建て替えは、ごみの在り方や税金の流れ、環境に与える影響等を含め議論を。